

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊丹市新庁舎整備工事	階数	地下1階、地上1階
建設地	兵庫県伊丹市千僧1丁目1番他	構造	RC造
用途地域	準住居地域、第2種住居地域、指定なし(法22条地域)	平均居住人員	1,445 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,210 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2020年9月17日
敷地面積	19,953 m ²	作成者	調、田口、柳田、安倍
建築面積	4,175 m ²	確認日	2020年9月17日
延床面積	7,628 m ²	確認者	大和久、吉村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物0の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>・既存駐車場を増築する計画。現庁舎の既存躯体を利用することでライフサイクルコストを軽減するサステイナブルな計画である。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>・既存部分の利用を多くすることで、仕上げ等を最小限で行う計画とし、環境に配慮した内装計画とした。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>・建築基準法の25%増の耐震性を設定し、災害時に復興復旧拠点として機能する庁舎に合わせた計画とした。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>・既存駐車場の植栽を活かした植栽計画とした。 ・各駐車場入り口部分には多様な樹種や地被類を計画することで、年間を通じて緑を感じることもできる計画とした。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>・使用エネルギーを年間で把握できるよう計画。エネルギー使用量を視覚化することで、ライフサイクルコストを低減する計画とした。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>・既存躯体の修復が必要な箇所を検討し、仕上げを行うことで仕上げ材の量を最小限に抑えるような計画とした。 ・仕上げに関しては、空気質環境に配慮した仕上げ材を選定することで、利用者に配慮した計画とした。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>・周囲の緑化環境に配慮した植栽計画とし、庁舎を新しい公園と位置づけ緑化に配慮した歩行者空間を創出する。 ・各入り口部分には樹種をバランスよく配置することで、利用者のみならず歩行者も緑化を感じることができるとしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される